

M-AUDIO®

M-TRACK^{QUAD}

ユーザガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源ブラクは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://m-audio.jp/>

M-AUDIO® <お問い合わせ>

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザガイド

はじめに

M-Track Quad は、4 イン・4 アウトの USB オーディオ・MIDI インターフェイスです。入力端子にはファンタム電源を搭載し、マイク、ギター、シンセサイザや DJ ミキサなど、様々なソースを接続することができ、それをゼロ・レーテンシでダイレクトモニタリングが可能です。

更に、外部エフェクタを接続する際に便利なインサート端子、MIDI 入出力端子、パスワード・ハブとして機能する USB ポートなどを装備、あらゆるシーンで活躍するインターフェイスです。

同梱物

- ・ M-Track Quad
- ・ 電源アダプター
- ・ M-Track Quad ドライバー（ダウンロード）
- ・ USB ケーブル
- ・ Pro Tools Express DVD
- ・ iLok2 USB KEY
- ・ Ignite ソフトウェア（ダウンロード）
- ・ User Guide（英文）
- ・ Safety & Warranty Manual（英文）

サポート

本製品のシステム要件や互換情報などの最新の情報は、株式会社ニューマークジャパンコーポレーションの Web サイト (<http://numark.co.jp/m-audio/>)、または M -Audio の Web サイト (<http://m-audio.jp/>) にてご確認ください。

付属ソフトウェア

以下のソフトウェアをインストールすることをお勧めいたします。

- **Pro Tools Express** : 本製品には、Avid Pro Tools の機能限定版 Pro Tools Express が付属されております。業界標準のオーディオ制作プラットフォームである DAW（デジタル・オーディオ・ワークステーション）で音楽制作を始めることができます。

1. Avid Pro Tools Express ソフトウェアのインストールとオーソライズを行う。付属「Avid Pro Tools Express オーソライゼーション・コード」、「USB iLok2」、「ソフトウェア DVD」を使ってインストールとオーソライズを行います。

具体的な手順については、www.numark.co.jp もしくは www.avid.com にアクセスし「**Avid Pro Tools Express AKAI professional / M-Audio Edition のインストールとオーソライズ**」のページをご覧ください。）

2. Pro Tools Express の認証後、ライセンスを受け取ります。使用するコンピュータの USB ポートに付属の iLok 2 を接続して、ライセンスを iLok2 ライセンスと照合して起動します。Pro Tools Express を使用する際は必ず iLok2 を接続してください。Pro Tools Express ソフトウェアは iLok2 ライセンスと照合して起動します。

Pro Tools Express のアップデート情報については www.avid.com をチェックしてください。

- **Ignite** : ダウンロードしてご利用いただける音楽制作ソフトウェアです。AIR Music Technology によって設計された Ignite はあなたの音楽的なアイデアやモチーフを楽曲創作へと導く革新的な音楽制作ソフトウェアです。

Ignite のダウンロードについては下記ページよりリンクをクリックしてください。

airmusictech.com/getignite

仕様

USB オーディオインターフェース :

- ・ サンプリングレート : 44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz
- ・ ビットレート : 24-bit
- ・ インターフェース : USB 2.0

アナログ入力 :

- ・ 周波数特性 : 20Hz to 20kHz (± 0.05 dB)
- ・ ダイナミックレンジ : 103dB、A-weighted
- ・ S/N : -103dB、A-weighted
- ・ THD+N : 0.0024% @ 1kHz / -0.25dBFS
- ・ クロストーク : 93dB @ 1kHz / -0.1dBFS
- ・ プリアンプ EIN : 126 dB analog to digital (max gain, 150 Ω source, unweighted) / 129 dB analog to digital (max gain, 150 Ω source, A-weighted)
- ・ プリアンプ THD+N : 0.008% @ max gain
- ・ マイクゲイン : 43dB
- ・ マイクインピーダンス : 6.3k Ω
- ・ ラインゲイン・レンジ : 51.5dB
- ・ ラインインピーダンス : 55k Ω
- ・ ギターゲイン・レンジ : 54dB
- ・ ギターインピーダンス : 102k Ω
- ・ インサート端子入力感度 : 0dBFS @ +6dBV
- ・ インピーダンス : 10k Ω

アナログ出力 :

- ・ 出力レベル : +6dBV @ 0dBFS
- ・ 周波数特性 : 20Hz to 20kHz (± 0.25 dB)
- ・ ダイナミックレンジ : 101dB、A-weighted
- ・ S/N : -101dB、A-weighted
- ・ THD+N : 0.006% @ 1kHz / 0dBFS
- ・ クロストーク : 97dB @ 1kHz / 0dBFS

ヘッドフォン :

- ・ **Unclipped output power** : 10mW @ 1kHz (32- Ω load)、3.4mW @ 1kHz (600- Ω load)
- ・ 周波数特性 : 20Hz to 20kHz (± 0.25 dB)
- ・ S/N : -100dB、A-weighted
- ・ THD+N : 0.007% @ 1kHz / 0dBFS (32- Ω load)、0.003% @ 1kHz / 0dBFS (600- Ω load)
- ・ クロストーク : 95dB @ 1kHz / 0dBFS

サイズと重量 :

- ・ **サイズ (W x D x H)** : 約 333 x 142 x 84mm (突起物含まず)
- ・ **重量** : 約 1.9kg

セットアップ

ドライバーのインストール

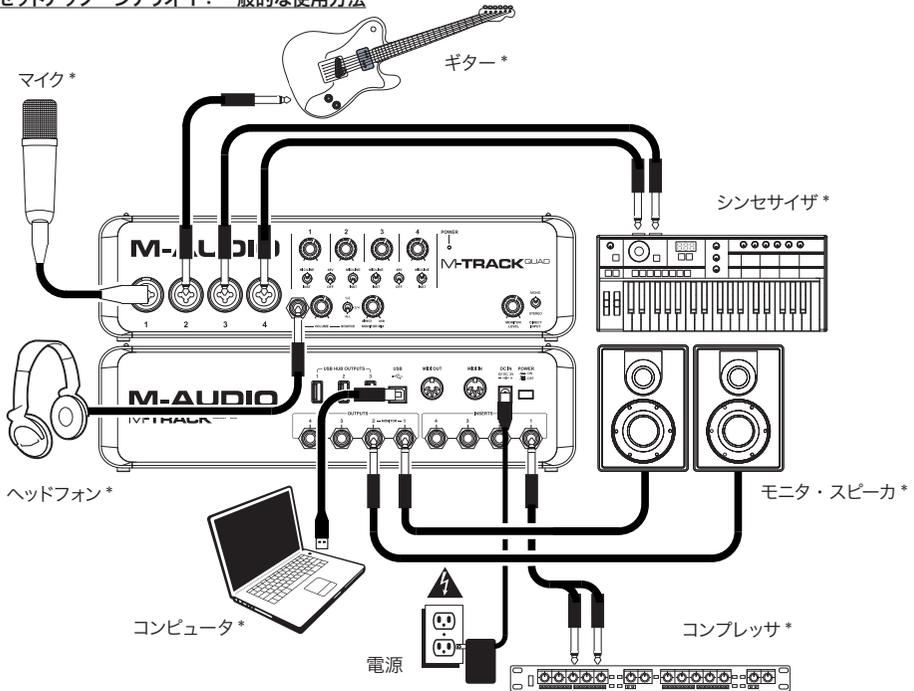
1. 以下のページへアクセスしてあなたの OS にあった M-Track Quad ドライバーをダウンロードしてください。
www.m-audio.com/drivers
2. ダウンロードされたファイルを開いて、ドライバーインストーラーをダブルクリックします。
3. ディスプレイの表示に従ってドライバーのインストールを行います。ドライバーインストール中に EIE Pro をコンピュータへ接続するように表示がでます)

重要! : M-Track Quad をコンピュータへ接続する前にドライバーをインストールすること。

クイックセットアップ/接続例

- **ご注意**: モニタースピーカーの電源は M-TRACK QUAD 本体の電源をオンにした後に、投入してください。
- MIC/LINE GUITAR 切り替えスイッチに関しましては、パッシブピックアップのギター/ベースを接続する際は、GUITAR に設定。アクティブピックアップのギター/ベースを録音する場合は、MIC/LINE に設定しレコーディングを行ってください。
- ギターやベースなどを接続し GAIN ツマミを高く設定した際に、電気的なハムノイズが混入する場合は、M-TRACK QUAD の電源アダプターを接続ケーブルから遠ざけることで軽減させられます。

セットアップ シナリオ 1：一般的な使用方法



* 印の機材は別売です。

ホームスタジオでのレコーディングはこのセットアップで行います。

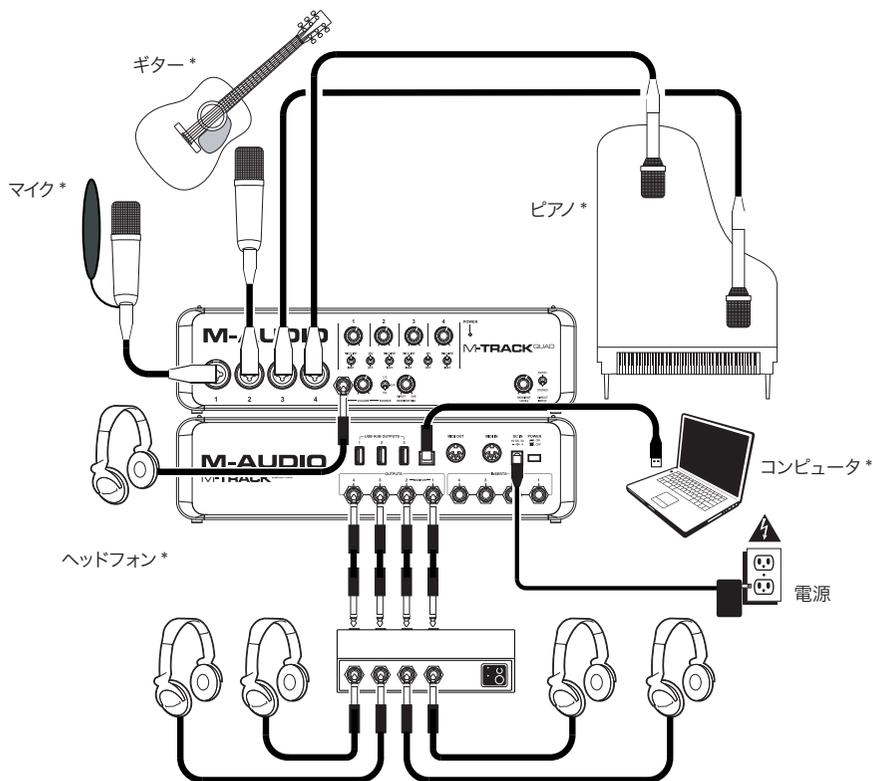
リアパネルの USB ポートとコンピュータを接続し、使用するソフトウェアのオーディオ設定に **M-TRACK QUAD** を入出力装置として選択します。ボーカル用マイク（コンデンサタイプ）をチャンネル 1 に接続し、ファンタム・パワースイッチをオンにします（ダイナミクス タイプの場合はファンタム・パワースイッチはオフにします）。その他の楽器はチャンネル 2～4 へ接続を行います。チャンネル 2 にギターを接続し、MIC/LINE / INST スイッチを INST に切り替えます。

チャンネル 3、4 にキーボードを接続し、MIC/LINE / INST スイッチを **MIC/LINE** に切り替えます。

リアパネルの OUTPUT1、2 にはモニタースピーカーを接続し、ボリュームはフロントパネルの MONITOR LEVEL ノブで調節します。ヘッドフォンはフロントパネルの HEADPHONE 端子に接続し、ボリュームは隣の VOLUME ノブで調節します。

ボーカルマイク信号にコンプレッサーをかけてレコーディングしたい場合はリアパネルの INSERTS 端子 1 に Y 字ケーブルを使ってコンプレッサーを接続します。

セットアップ シナリオ 2 : バンドレコーディング



*印の機材は別売です。

バンド演奏によるレコーディングはこのセットアップで行います。

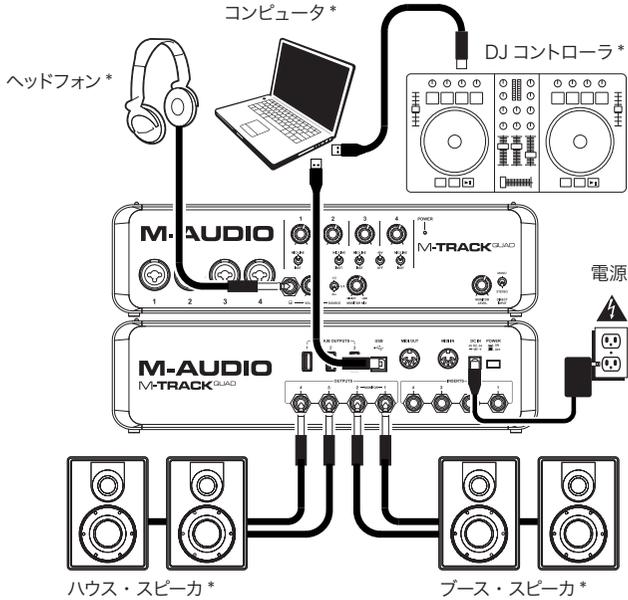
リアパネルの USB ポートとコンピュータを接続し、使用するソフトウェアのオーディオ設定に **M-TRACK QUAD** を入出力装置として選択します。

ボーカル用マイク（コンデンサタイプ）をチャンネル 1、ギター用マイクをチャンネル 2 に接続し、ファンタム・パワースイッチをオンにします（ダイナミクス タイプの場合はファンタム・パワースイッチはオフにします）。

ピアノ用マイクはチャンネル 3、4 へ接続を行います。

リアパネルの出力端子にマルチチャンネル・ヘッドフォンアンプを接続し、演奏者たちのヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンはフロントパネルの HEADPHONE 端子に接続し、ボリュームは隣の VOLUME ノブで調節します。

セットアップ シナリオ 3 : DJ セットアップ



* 印の機材は別売です。

DJ ソフトウェアを使った DJ はこのセットアップで行います。

リアパネルの USB ポートとコンピュータを接続し、使用するソフトウェアのオーディオ設定に **M-TRACK QUAD** を入出力装置として選択します。

リアパネルの出力端子 1、2 にブース用モニター、出力端子 3、4 にハウスピーカーを接続します。

キュー出しはフロントパネルのヘッドホンおよびブース用モニターで行います。

ミックスアウトはハウスピーカーで行います。

オーディオ設定

M-TRACK QUAD は、DAW（デジタル・オーディオ・ワークステーション）ソフトウェアやレコーディングソフトウェアと一緒にご利用いただけます。これは Windows OS では ASIO、Mac OS では Core Audio との互換があります。

ご使用頂く音楽制作ソフトウェアのオーディオ設定に従って M-TRACK QUAD を入力及び出力装置として選択を行ってください（各ソフトウェアのオーディオ設定の詳細につきましては、ご使用頂いているソフトウェアのマニュアルをご覧ください）。

尚、OS 上でのオーディオ設定につきましては、以下の手順に従ってセットアップを行ってください。

Windows7 および Windows8 :

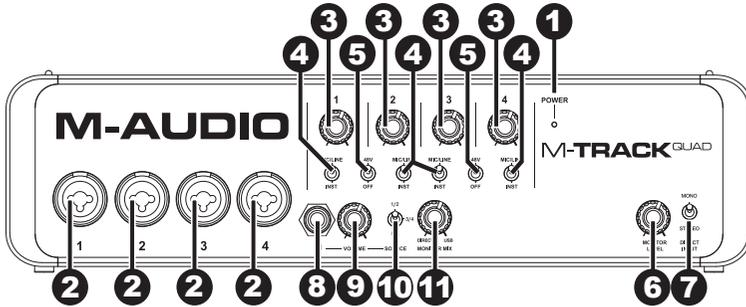
1. 付属 AC アダプター（6V,3A センタープラス）を M-TRACK QUAD 本体へ接続します。
2. 付属 USB ケーブルを使って、M-TRACK QUAD 本体とコンピュータを接続します。
3. **スタートメニュー > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > サウンド**ウィンドウを開きます。
4. **再生**タブをクリックして、**M-TRACK QUAD** を規定のデバイスとして設定します。
5. **録音**タブをクリックして、**M-TRACK QUAD** を規定のデバイスとして設定します。
6. **サウンド**コントロールパネルの **OK** をクリックしてウィンドウを閉じます。

Mac OS X 10.7 および 10.8 :

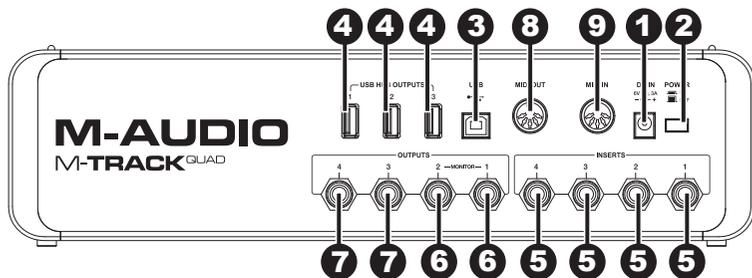
1. 付属 AC アダプター（6V,3A センタープラス）を M-TRACK QUAD 本体へ接続します。
2. 付属 USB ケーブルを使って、M-TRACK QUAD 本体とコンピュータを接続します。
3. **アップルメニュー > システム環境設定 > ハードウェア > サウンド**ウィンドウを開きます。
4. **入力と出力**タブ 両方に **M-TRACK QUAD** を設定します。
5. ウィンドウを閉じます。

各部名称とその機能

フロントパネル

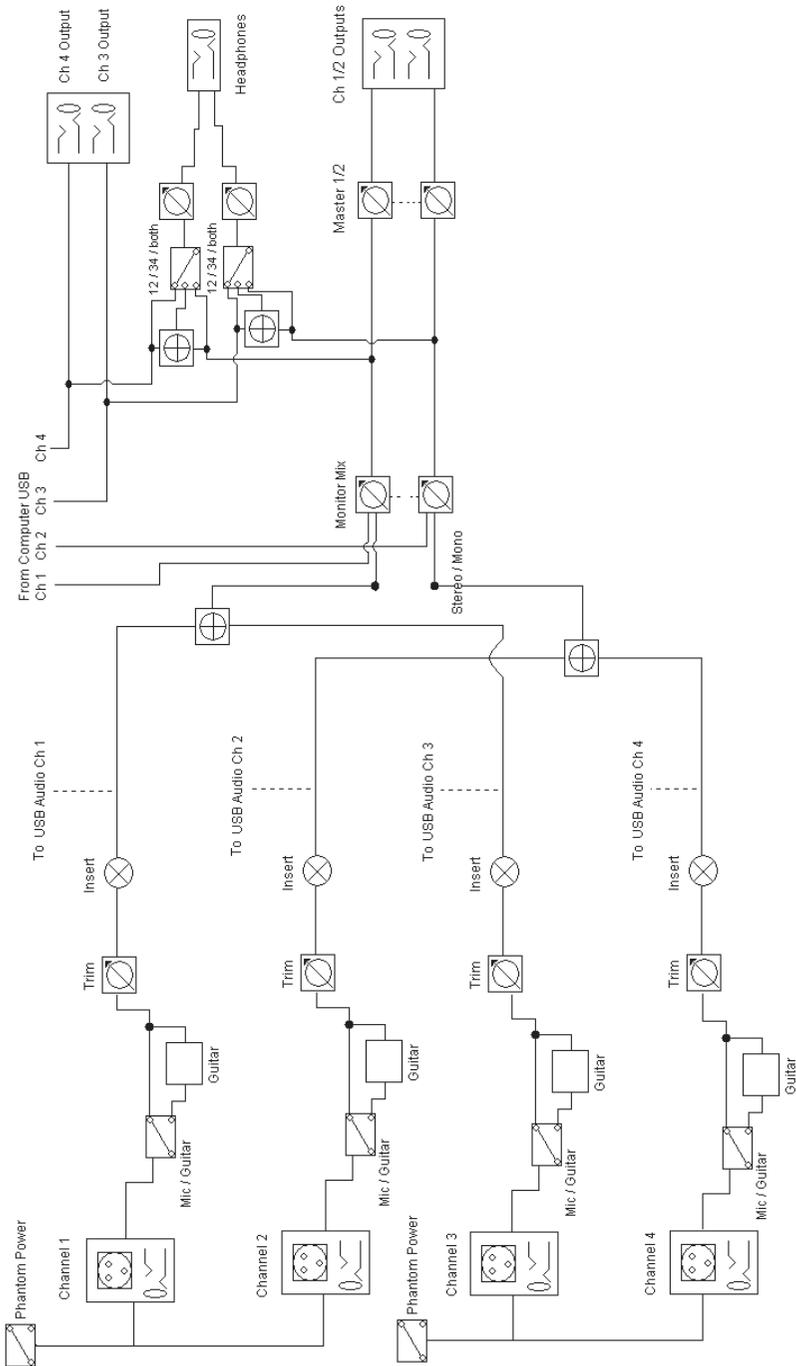


1. **パワー LED** : M-TRACK QUAD に電源が入っている状態で点灯する。
2. **MIC/LINE GUITAR 入力端子** : マイク、ラインレベル出力の機器もしくはギターなどを XLR もしくは 1/4"TRS ケーブルで接続します。
3. **GAIN ノブ** : 入力のゲインレベルの調整を行います。
4. **LEVEL MIC/LINE INST スイッチ** : MIC/LINE を選択時、マイクもしくはラインレベル機器の入力が行えます。INST を選択時、ギターやベースなどのハイインピーダンス入力に対応します。
5. **ファンタム +48V スイッチ** : コンデンサーマイクをご使用の際にオンにします。
6. **MONITOR LEVEL ノブ** : AUDIO OUTPUTS 1/2 の出力レベルの調整を行います。
7. **MONO / STEREO スイッチ** : 入力端子に入力したオーディオ信号を AUDIO OUTPUTS 1/2 ヘダイレクト・モニター出力を行った際の MONO もしくは STEREO を選択します。
8. **HEADPHONE** : ヘッドフォン出力端子。1/4"TRS フォーン端子によるヘッドフォンの接続を行います。
9. **HEADPHONE VOLUME ノブ** : ヘッドフォンの出力レベルの調整を行います。
10. **HEADPHONE SELECT スイッチ** : ヘッドフォン出力を行うチャンネルを選択します。(1/2、3/4、ALL)
11. **MONITOR MIX ノブ** : 各入力端子へ接続しているソースのダイレクト信号と USB 接続をしているコンピュータからの出力信号のバランスの調節を行います。



1. **DC IN 端子**：付属の電源アダプター（6V,3A センタープラス）の接続を行います。
2. **電源スイッチ**
3. **USB 端子**：USB ケーブルを使って、コンピュータとの接続を行います。（要 USB2.0 ポート）
4. **USB HUB OUTPUT 端子**：この USB 端子を使うことでさまざまな USB 機器（MIDI コントローラ、USB ハードディスクなど）の接続が行えます。USB パスパワーも供給されます。
5. **AUDIO INSERTS 端子**：標準 1/4"TRS ケーブルを使用して外部エフェクター（コンプレッサ、リミッタ、イコライザなど）の接続を行います。各チャンネルのゲイン・コントロールの後の信号がセンドされ、チャンネル毎の USB オーディオラインの手前へリターンされます。
6. **AUDIO OUTPUTS 1 / 2 端子**：標準 1/4"TRS ケーブルを使用してモニター・スピーカやアンプなどへの接続を行います。AUDIO OUTPUTS 1 及び 2 は MONITOR LEVEL ノブにより調整を行います。
7. **AUDIO OUTPUTS 3 / 4 端子**：標準 1/4"TRS ケーブルを使用してモニター・スピーカやアンプなどへの接続を行います。AUDIO OUTPUTS 3 / 4 は常に 0dB（最大出力レベル）となります。
8. **MIDI OUT 端子**：MIDI ケーブルを使用して外部 MIDI 機器との接続を行います。
9. **MIDI IN 端子**：MIDI ケーブルを使用して外部 MIDI 機器との接続を行います。

オーディオ・ルーティング



m-audio.jp